

交換留学(派遣) 帰国報告書

皆さんが無事留学を終えられたことを嬉しく思います。本報告書は以下の目的のために使用されます。

- ① 皆さんの留学に関する状況を把握するための資料です。
- ② 今後、交換留学プログラムを改善するための重要な資料となります。
- ③ 留学を考えている後輩達のための有益な資料となります。留学経験を共有するために、ぜひご協力ください。

本報告書は帰国後、写真データと共にメール送信で提出してください。



あなたの情報(本報告書を閲覧する際には、あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません)

氏名:	
学籍番号	
メールアドレス:	
留学先大学:	ウィーン経済経営大学
留学先での所属学部・研究科:	経営学部
留学先での在籍身分:	exchange students
留学期間:	7ヶ月
神戸大学での所属学部/研究科:	経営学部
学年(出発時):	大学3年生
帰国日・オンライン授業終了日:	帰国日: 2020年3月20日 オンライン授業終了日: 6月15日
本報告書記入日:	2020/8/20

1. 留学先大学について

1-1	学年開始月日:	10月 1 日
	学年終了月日:	6 月 28 日
	学期: セメスター制	① 第1セメスター 10月 1 日～ 1 月 31 日 ※12月23日から1月6日まではクリスマス休暇
		② セメスターブレイク 2月 1日～ 3 月 1日
	③ 第2セメスター 3 月 2日～ 6 月 28 日 ※4月4日から4月14日はイースター休暇	
	④ 月 日～ 月 日	
1-2	留学先大学の特長、人気のある分野等について記入ください。	1クラスあたり25～30人ほどの少人数制の授業が多い。先生と生徒の距離が近く、盛んに議論が行われ、また、グループワークが多いのが特徴的である。経済経営に特化した大学であるからか、提供されている授業の種類がかなり豊富。その中で留学生が受講することのできる授業もたくさんあり、自分が学びたいことを学べる。人気分野に関しては、マーケティングやファイナンスなどが挙げられる。
1-3	留学先大学のサポートについて記入ください。	
	語学面でのサポート:	第一セメスターが始まる前にpre-Germanの授業が開講されていたので、その授業を受講した。(別途授業料要)。その後も別途費用がかかってしまうが、ドイツ語の授業が提供されていたので、私はA1.1+の授業を続けて受講した。
	勉強面でのサポート:	前述の通り、WUでは少人数制の授業が多いため、わからないところは授業内で質問しやすい環境が整っていると思われる。そのほかでも、授業前後に質問したり、メールで質問をしたりすることも可能である。
	精神面でのサポート:	何か困ったことがあれば、International officeの人に聞けば、相談にのってくれると思う。オーストリアはVisaの取得が割と複雑でめんどうなので、International officeの人に色々アドバイスをもらい助けてもらった。
	住居・生活面でのサポート:	大学側は直接の寮は持っていないが、学生用の寮を斡旋してくれるエージェント(oead)を紹介してくれる。パディーを申し込んだら、空港までお迎えに来てくれたり、最初慣れない頃は学校を案内してくれたりした。
	課外活動のサポート:	スポーツクラスなど、別途費用はかかるが、とることができる。
1-4	近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。	クリックで別シートへ
1-5	神戸大学の所属学部・研究科にて「単位認定」を申請する予定ですか?	はい

2. 住居について

2-1	住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。(気を付けること等)	シェアハウスはシェアハウスでも、キッチンのみシェアのものもあれば、トイレ・バスなども共有のところがある。私は、キッチンのみ共有で、後はプライベートだったので、自分のペースに合わせて生活でき、ちょうど良いバランスだったと思う。
-----	--------------------------------------	--

3. 生活について

3-1	インターネット接続環境について	寮にwifiあり。ただ、あまり強くない。
	住居内のインターネット接続可否、プロバイダー、料金等について記入してください。	月々の家賃に含まれている
	大学内のインターネット接続可否(wi-fi)等について記入してください。	有
3-2	医療について	
	留学中に病院に通いましたか。医療費等について記入してください。また、健康管理や衛生面について特に注意すべき点について教えてください。	ダニの注射を2回受けにいったのみ。保険が効くので、注射一回当たり18ユーロくらいで済んだ。屋内と屋外で気温差が激しいので(特に冬)、風邪をひかないように野菜を多めにとるなど気をつけていた。
3-3	銀行口座等について	
	留学先でお金を引き出す為にどんな準備・手続きをしましたか。(現地口座開設、キャッシュパスポート等)	現地の銀行口座を開設し、親に送金してもらった。口座開設はすぐにできるが、開設するまでの間の生活費に関しては、日本から20万円分ほどのユーロを持っていった。また、日本のクレジットカードも3枚持っていた。

4. 経費について(奨学金、留学費用)

4-1	奨学金を受給していた場合、奨学金名(財団名等):	トビタテ 留学JAPAN
	支給額(円/月):	16万
	その他(渡航費等の支給):	準備金 25万
4-2	留学期間を通して必要だった費用を記入してください。(概算で結構ですので、円価で記入してください。)	
	航空運賃:	20万 円
	住居費:	(月額) 66,000 円 × (留学月数) 10 ヶ月 = 660,000 円
	食費:	(月額) 3万 円 × (留学月数) 7 ヶ月 = 21万 円
	保険料:	50,400 円
	その他:	旅行・交際費 30万 円
	合計(留学期間全体の費用):	140万 円

5. 異文化体験について		
5-1	留学先の文化・社会(習慣の違い等)について記入してください。	日曜日は多くのお店、スーパーなどが閉まっており、少し不便なところがあった。平日・土曜日なども、日本と比べて営業時間が短い。レストランではチップ文化が根付いており、支払い額の10%ほどをチップとして渡すのが望ましい。
	大学外の現地の人々と、どの程度コンタクトを持ちましたか。	水曜日の日本語の会で知り合った人と会ったり、WUの現地学生と遊んだ際に、芋づる式で連れて来た別の大学の人と会ったりという程度。
	課外活動(ボランティア、インターンシップ、アルバイト等)はしましたか。	フィールドワークの実施
	留学先の「町」についてコメントがあれば、記入してください。(安全性、外国人への態度等)	安全性の観点では、日本と同じくらい安全とっていいほど、治安が良く、インフラなどの設備も整っており、非常に暮らしやすい町だったと思う。

6. 就職活動について		
6-1	留学期間中に就職活動をしましたか。就職活動をした場合、どんなことをしたか教えてください。	ウィーンに在る間は、サマーインターンで接点を持っていたところと、面談といった形で軽くお話しすることは数回あったが、それ以外は特に就職活動はしていない。3月末に早期帰国した後は、オンラインで留学先の授業を受けながら、並行して就職活動も行なった。

7. アドバイス、振り返り		
7-1	現地で参考となった留学先国の情報(出版物、ホームページ)を記入してください。	地球の歩き方
7-2	現地では手に入らない物、日本から持参すると良いと思われるものがあれば、記入してください。	薬、化粧品、本、日本食
7-3	留学することによって得られたことについて記入してください。(語学力の向上、キャリアパスの明確化、異文化理解等)	英語での専門知識。世界中にネットワークが広がったこと。ウィーンの歴史・文化に関する学び・経験。
	語学力について、差し支えの無い範囲で、留学前と帰国後の客観的な指標を教えてください。	留学前:() 点 → 帰国後:() 点
7-4	振り返ってみて、何が最大のトラブルでしたか。	イタリアに旅行に行った際に、電車に乗り遅れたうえに、騙されそうになったこと。
7-5	留学前、留学期間を通じて、神戸大学のあなたへのサポートは適切でしたか。神戸大学への要望があれば記入してください。	
7-6	本留学プログラムを後輩に薦めますか。薦める場合・薦めない場合ともに、理由を記入してください。	強く薦める。単なる交換留学だけではなく、留学に行く前から事前に英語を使って専門科目を学ぶことのできる機会が提供されており、そこで同じ思いをもった人たちと一緒に刺激し合いながら学ぶことができるから。また、留学を通じて、勉強の分野での成長はもちろんのこと、それ以外でも多くの学びを得ることができるから。
7-7	留学全体を振り返って、以下の質問に教えてください。	(5段階評価、5が最も高い評価、1が最も低い評価)
	・留学先大学の授業の「質」(内容、レベル等)に満足しましたか	5
	・留学先大学の学生サービスに満足しましたか	5
	・留学先の住み心地(安全性等)に満足しましたか	5
	・住居の「質」(広さ、料金等)に満足しましたか	4
	・全体として留学に係る費用は安かったかと思いい、満足しましたか	4
	・神戸大学の留学に係るサポートに満足しましたか	4
・留学全体の総合的な評価	5	

8. その他感想、後輩へのメッセージ等を自由に記載してください。(800字～)		
<p>オーストリアへの留学を通じて、大学での学びはもちろんのこと、様々な国からきた留学生とともに時間を過ごしたことで、自分自身が持つ価値観が揺さぶられ、多くの刺激を得ることができたと思っています。以下では、これから留学に行く人たちにぜひオーストリアのウィーン経済経営大学をオススメするののかについて、留学に行ってきたと思う点について、2点お話ししていきたいと思っています。</p> <p>まず1つ目のウィーン経済経営大学をオススメする理由についてです。ウィーン経済経営大学には、世界中から留学生がきており、そのため留学生向けに開講されている授業の種類・数が豊富にあります。同じ科目でも、その分野の専門の教授が多くいるので、複数個授業が提供されており、比較したうえで授業を選択することができました。また、経営、経済、法、IT系の授業など自分の学部をまたいで授業を取ることもできました。ビジネスに特化している学校であるということもあり、教授の中には実際にビジネスマンとして最前線で活躍されている方もいらっしゃり、その方の経験話を伺うことができたのは、とても貴重な機会であったと思っています。その他にも、授業の多くが少人数制であったため、学生と教授との距離が近く、わからないことをすぐに気軽に聞ける環境があり学びの場としては絶好の場であったと思っています。また、学生同士で話しあったり、一緒にワークに取り組んだりすることが多かったため、授業内で自然と仲良くなり、世界中から来た留学生と友達になれたのは本当によかったと思っています。以上のように、ウィーン経済経営大学は留学生にとっての学びの選択肢がたくさん用意されており、質の高い学びを得ることができる場があると思います。留学先を迷っている方がいらっしゃいましたら、ウィーン経済経営大学を一つの選択肢として考えていただくと幸いです。</p> <p>次に、留学に行ってきたと思う点についてです。私は、留学中に多くの人と出会い、その人たちの考え方に触れることで、自分の中での考えが少し変わったと感じています。具体的には、何か困ったことや、行き詰まったことがあっても、人とのネットワークとアクション(行動)さえ起こせばあれば、意外となんとでもなると思えるようになったことです。留学中に、トビタテ 留学JAPANのプログラムを通じてオーストリアのフェアトレード市場について調査していた際に、なかなか最初は相手にしてもらえず、思うように自分のやりたいことが進みませんでした。その度に、落ち込んで、別の方法を探していたのですが、探してみるはいいものの「でも、、、いや、これはさすがにむりか」と常に否定する要素を考えてしまう自分がいました。これを留学で出会った友人に話した際に、「リスクばかりを恐れてはいけません。とりあえず、身近なところからできることをやればいい。そしたらそこで出会った人が新たにヒントをくれるかもしれないよ。」とアドバイスをしてくれました。その友人の言葉を信じて、とりあえずできる範囲で行動を起こしてみると、そこで出会った人が、別の(組織)を紹介してくれ、次にそこで紹介してもらった人に連絡すると新たな人(組織)を紹介してくれと、芋づる式で、自分が当初は思っても見なかった人と繋がることができ、自分がやろうとしていることにどんどん近づいていくことができました。言語も文化も違う環境では、何かとトラブルがあったり、悩んだりすることがあるかもしれませんが、自分の持つ人のネットワークを最大限駆使して、アクションを起こして行くと、自然とネットワークが広がっていき、それに伴いアクションを起こせる範囲も広がっていきます。そして、ゆくゆくは、やろうとしていることや、やりたいことを達成することができますし、どんな悩み事も意外と解決できてしまうと、経験をもとに今では確信しています。これは、あくまで私の場合の例ですが、留学では、自分がもつ当たり前が通用しない環境に身を置くからこそ、新しい価値観や考え方に会う確率が高くなり、それが自分を変化させたり、新たなことに気がつかせてくれるきっかけになったりするかと思います。学問的な学びに加え、自分自身の考え方や将来のキャリアについての学びを得ること、そして何よりも世界中に多くの友人ができることは自分自身にとっての大切な財産であり、留学における大きな魅力であると思っています</p>		

9. 留学経験の共有について		
あなた自身の写真や大学キャンパス等の写真があれば、ぜひ報告書と共にGEMsにアップロードしてください！		
9-1	神戸大学では所属学部・研究科教務係及び国際交流課にて、留学を考えている学生等のために報告書を閲覧できるように保管します。あなたは、本報告書を閲覧資料とすることに同意しますか？(あなたの氏名、学籍番号、メールアドレスは公開されません。) ※閲覧資料にすることに同意しない場合でも、あなたの近況等を把握するため及び本プログラムの改善のために学内関係部署に転送することがあります。	はい
9-2	あなたの報告書の一部を引用して、本学の印刷物やウェブサイトに掲載することに同意しますか？	はい
9-3	もし写真を提出する場合、あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか？	はい
9-4	もし写真を提出する場合、あなたの写真を本学の印刷物やホームページに掲載することに同意しますか？	はい
9-5	国際教育総合センターが実施する「海外留学フェア」にご協力いただけますか。(留学体験の発表等) ※可能な場合、後日連絡することがあります。	はい
9-6	もしあなたと同じ大学(国)に留学する神戸大学の学生があなたと連絡を取りたい場合、あなたのメールアドレスを学生に伝えることに同意しますか？	はい
	同意する場合、連絡可能なメールアドレス:	risa.wugh@gmail.com

ご協力ありがとうございました。本報告書は大変有益な資料になります。

1-4 近況報告書提出後に、履修した授業について記入してください。

No.	コース名	教授名	時間数/週	留学先での単位数	授業での使用言語	履修している学生数	予習、復習、テスト等の成績評価についてアドバイスも含めて教えてください
1	Responsible Global Leadership	Assoz.Prof Dr. Christof Miska	180分/週	6 ECTS	英語	25	事前にテキストの一部や論文などを読む課題が与えられ、それに基づいて授業が進められていくので予習がかなり重要。
2	Negotiation Strategies and Techniques. A Case Study Approach Based on the	Mag.Dr. Manfred Hückel	300~450分×2回/週	6 ECTS	英語	25	授業内で与えられた時間内で交渉に必要な資料を読み、その場で交渉に挑む形だったので、予習や復習の量は比較的少なかったと思われる。
3	International Marketing and Management I:International Management C	Dr. Elisabeth Götzte	180分/週	6 ECTS	英語	30	コロナの影響で一回目のみ対面で授業を行い、それ以外は与えられた資料や先生のレジュメなどを読み各自で学習する形であった。テストは授業で習ったことをしっかりと理解できていれば解けるレベルの問題であった。
4	Sustainable Business: Managing for Tomorrow	Mag. Alice Schmidt	210分/週	6 ECTS	英語	25	授業のはじめに必ず前回のおさらいをするので、復習をしっかりとしておくことで授業の入り方がスムーズになるし、その日新たに学習することとの繋がりも見えやすくなる。
5	Principles of Strategic and Financial Controlling	Dr. Stephanie Messner	210分/週	6 ECTS	英語	30	コロナの影響で、一度も対面授業をすることができず、その代わり先生から各自で与えられた資料を読み進めておくよう伝えられた。2回のレポート提出と最後にテストで成績評価をされたが、コロナの影響もあって特に先生から教わることなくサポートもほぼなかったため、自主学習をもとに課題を行いテストに挑まなければならずモチベーションを保つのがむずかしかった。
6	Project Management	Dr. Berrin Agaran	225分	6 ECTS	英語	25	授業で学んだことの実践として、ほぼ毎週グループ課題や個人課題が出される。また、成績評価方法としてクイズや期末テストなどもあったが、どちらも発展的な内容は聞かれず、基礎的な内容の理解を測るものだった。

・授業(カリキュラム等)について クラスのサイズ、成績評価、現地学生の取り組み等

留学生が取れるWUの授業は、比較的人数が少なく(20~30人ほど)、学生と講師の議論が活発に交わされ、またグループワークが多いのが特徴である。ただ、コロナの影響によって、上記の特徴をもつ授業を行うのが難しくなり、先生によっては自習学習に任せる形であったり、一方ではzoomを用いて対面式とほぼ変わらない授業を行った先生もいた。成績はあらゆる側面から評価されるが、大きく分けて個人ワークで評価されるものとグループワークで評価されるものの2つに大別できる。個人の方では、主に期末テストやレポートなどで評価され、グループ点ではグループプロジェクトの成果などで評価される。